

ラーメン高架橋の柱梁接合部における機械式定着工法の適用法

中田裕喜 西村脩平 田所敏弥 幸良淳志

RCラーメン高架橋の柱梁接合部においては、鉄筋が輻轉する傾向にあり、施工性の低下等を招く可能性があります。この過密配筋への対策として、軸方向鉄筋の定着に機械式

定着工法を用いることが考えられますが、柱梁接合部ではコンクリートによる拘束が小さい面を有していることが多く、そのような部位での定着挙動は明らかになっていません。

本研究では、実験により、柱梁接合部における軸方向鉄筋に機械式定着工法を用いた場合の定着挙動を明らかにしました(図1)。そして、機械式定着工法が適用可能な条件を提案しました(図2)。

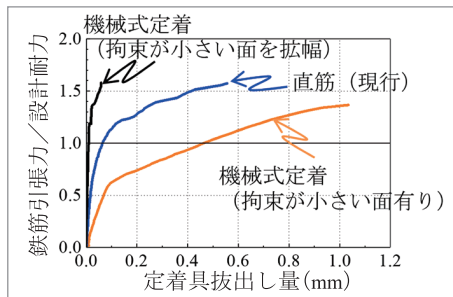


図1 静的耐力の検証(一軸引張試験)

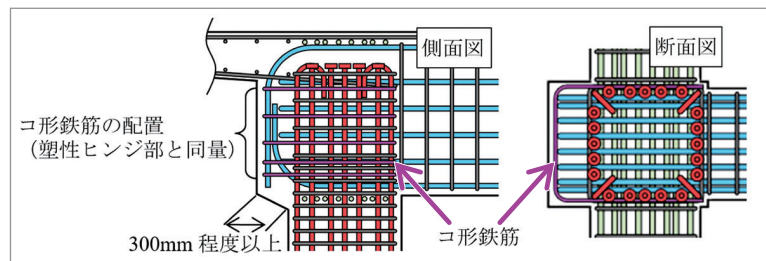


図2 機械式定着工法を適用した配筋例